

## 令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	博愛福祉会	代表者	大西 弘文
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵長谷	管理者	宮崎 博之

法人・事業所の特徴	利用者様1人1人の人権を尊重し、その人がその人らしくご本人やご家族を中心に在宅生活できるようにサポートさせていただきます。今現在必要なサービスを多職種連携し都度相談しながらサービスを提供してまいります。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

出席者	市職員	知見を有する者	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	1人	人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員の獲得を紹介会社も含めて考える。やむを得ない場合は派遣も考慮する。	自己評価は職員全員ですることが出来た。職員の紹介で夜勤専従が1名獲得でき、夜勤の対応がしやすくなった	2025問題を考える時、小規模多機能は重要な機能であるので手本になれるよう運営して欲しい。	職員定着とサービス向上に努め、利用者登録数25人以上を維持する事を目指していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策を徹底し、安心して事業所に来てもらえるよう環境を整える。	感染症対策に換気、手洗い、アルコール消毒、利用前の検温等を行った。	感染症対策には十分に気を付けてもらっていると思うが、今後も注意してほしい。	感染対策に留意し、衛生的な環境を整え、相談しやすい場所として知ってもらうよう務める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事に積極的に参加し地域の方と顔馴染みになり地域の方の相談窓口になる。	回覧板や運営推進会議等で地域の行事に関して情報を得て、出来る限り参加する事ができた。	感染対策に気を付けて、地域の交流の仕方を考えてもらいたい。	地域のイベントや防災訓練に参加できるよう取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	感染症対策に十分配慮した上で地域イベント等に参加して交流を深める。	マスク着用を徹底しながら、地域に迷惑にならない範囲で参加できた。	コロナウイルス感染に気を付けてほしい。	近隣の方への挨拶や配慮をしっかり行う。多職種連携に努め情報交換を密に行う。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	介護の悩みや困り事などの相談を受け付け地域での介護課題、情報収集に努める。	南毛利包括から相談を受けたケースがサービスへ繋がった。	これからも相談にのってほしい。地域も高齢者が多いので頼りにしています。	地域の方の介護の困りごとを事業所会議でも取り扱うので、十分な情報収集を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練の内容を運営推進会議で報告するよう努め、災害対策の周知を行う	地域の方にも参加してもらうような取り組みができず周知を行えなかった。	地域の防災訓練にも加わってほしい。	防災計画に沿って対応できるように努める。地域の防災訓練に参加する。